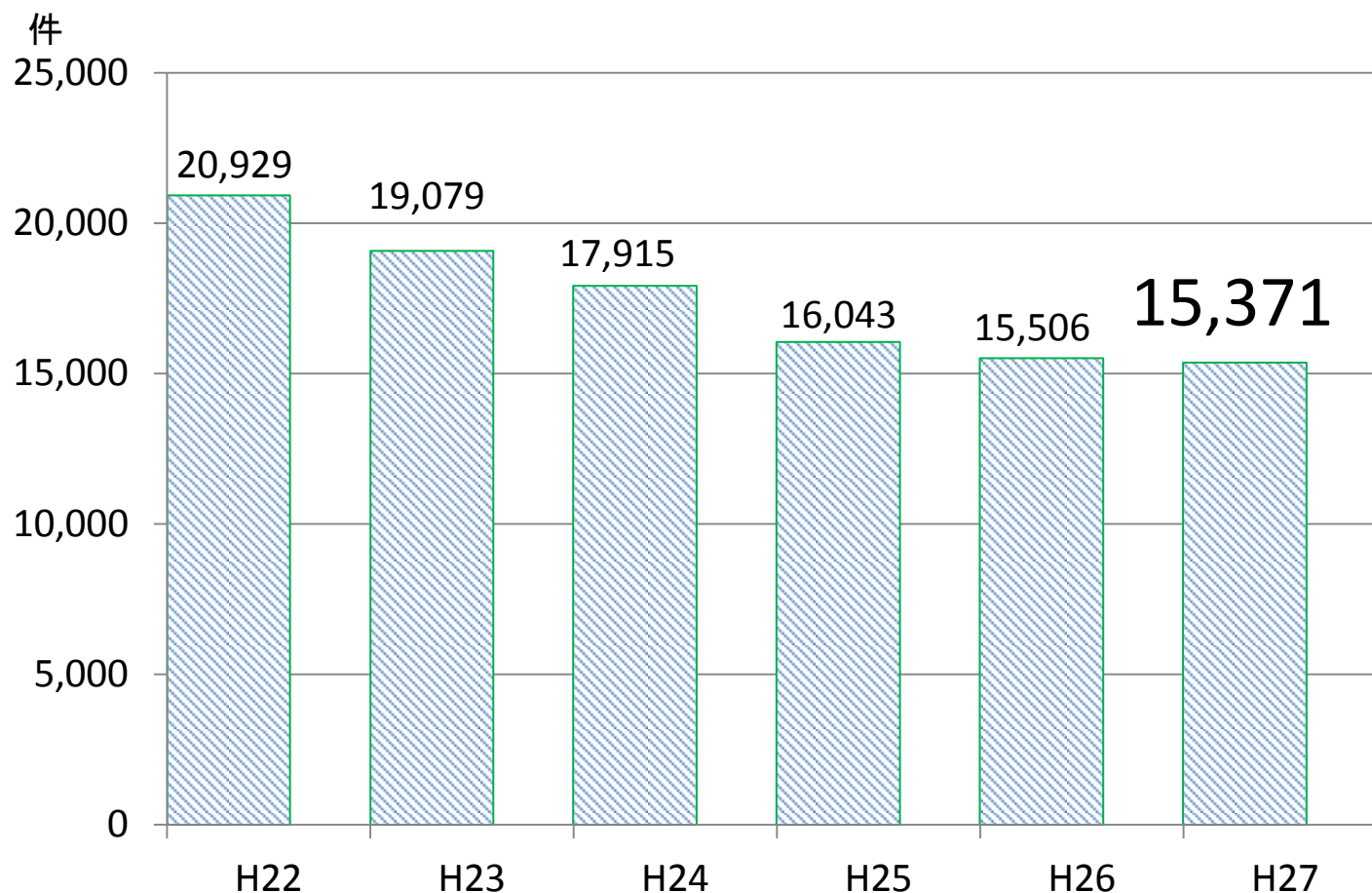


平成28年7月1日

万引きの実態について

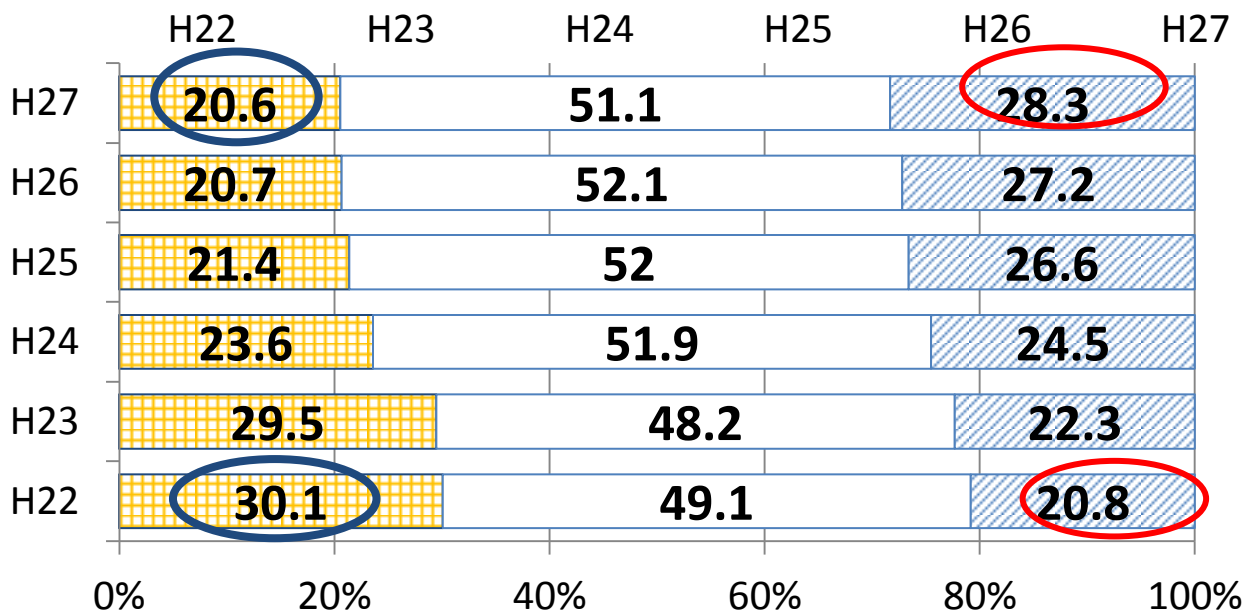
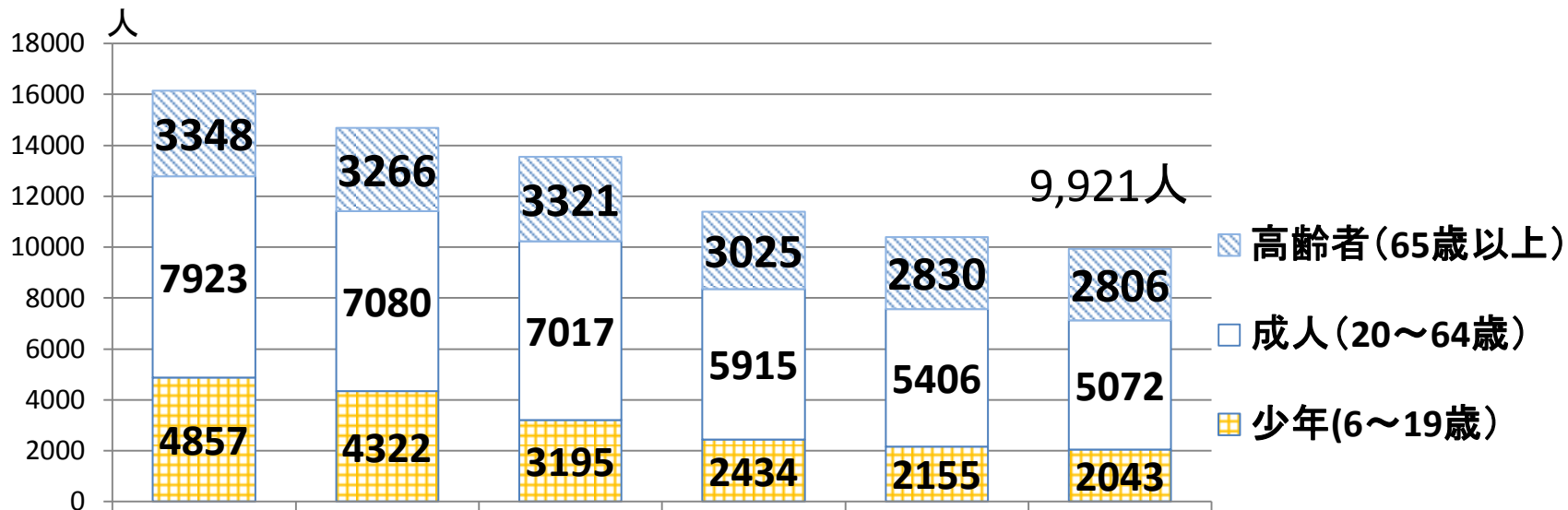
万引きに関する有識者研究会

都内万引き認知件数の推移



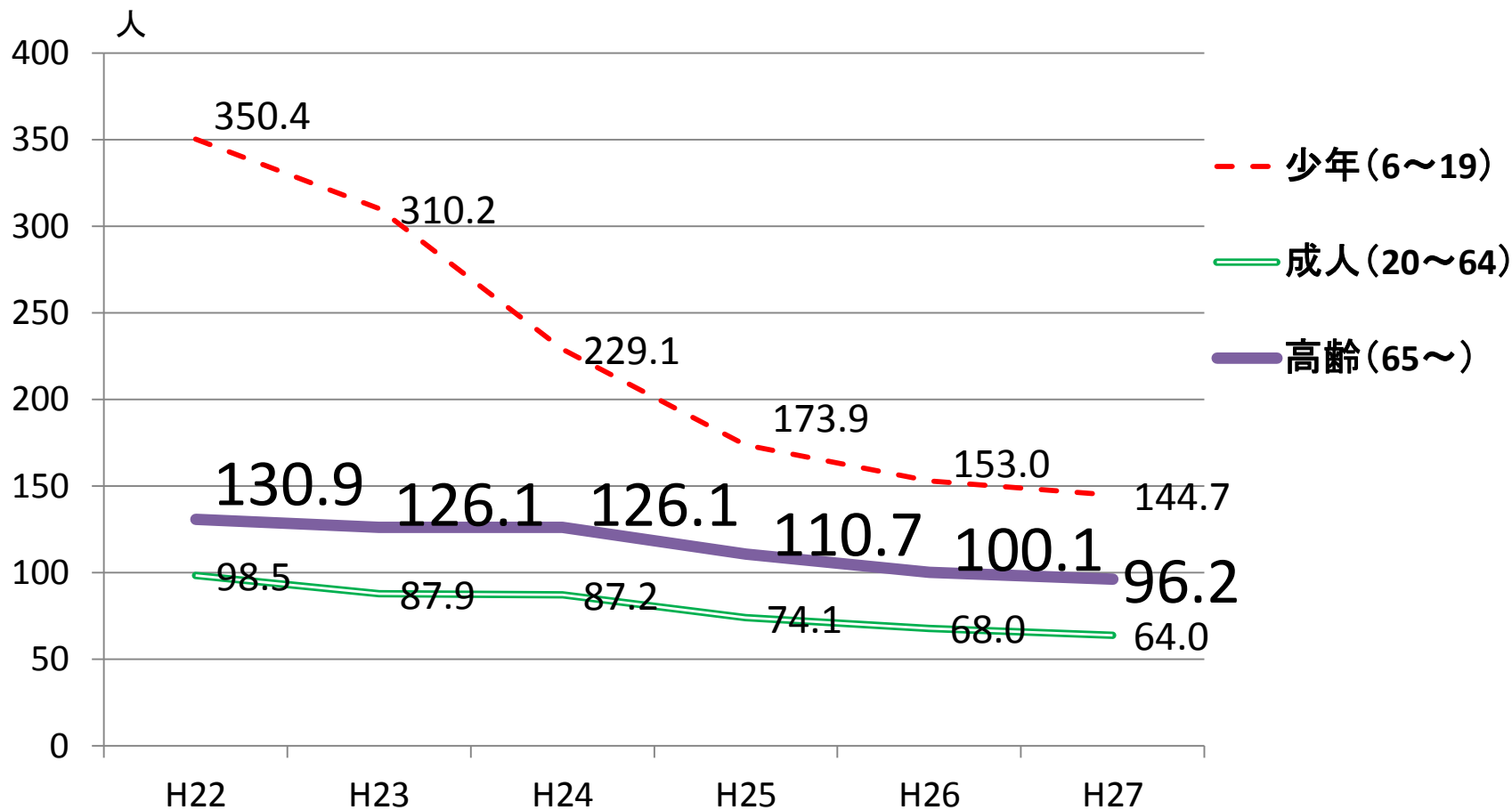
※警視庁生安部資料より作成

都内万引き検挙・補導人員及び割合



※警視庁生安部資料より作成

都内万引き検挙人員 (10万人あたり)の推移



万引きに関する主な取組

《行政》

○「万引き防止のためのアクションプログラムの改訂」(平成27年4月警視庁)

○古買対策の強化

- ・古物商の取締りの強化
- ・東京ルール(中学生以下の買取は保護者同伴、買取商品の制限、不正品申告の徹底など)
- ・広報啓発ポスター(書店等へ100枚)

○広報啓発・教育

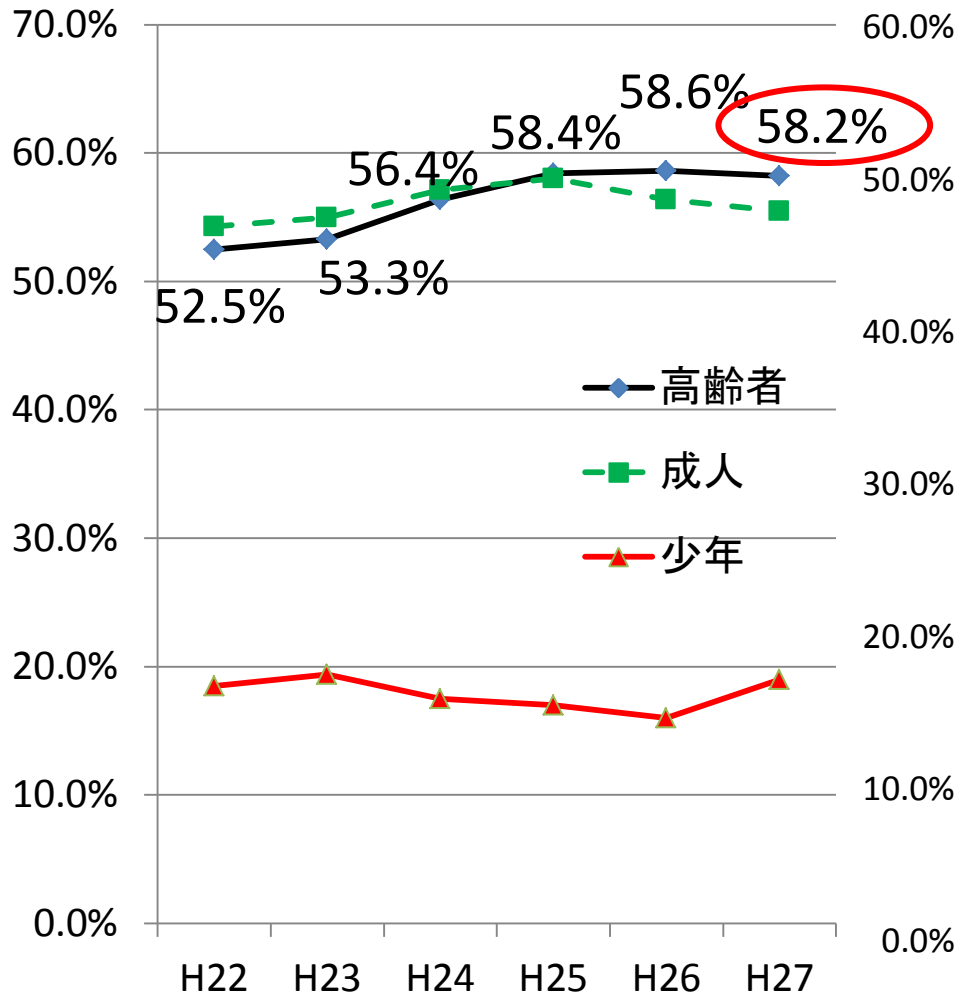
- ・「万引きゼロの日」(平成22年7月以降、毎月20日)
「万引きをとめ隊」(万防協会婦人部中心約40名)によるキャンペーン活動など
- ・万引き防止道徳教材の配布(都内全ての公立小中高等に配布)
- ・万引き防止広報ポスター(小売店等へ12万枚)
- ・成人・高齢者向けポスター・リーフレット(ポ: 駅、区市町村、小売店等へ12万枚、リ: 防犯連絡会、町会等へ20万枚)
- ・万引き防止音楽劇、万引き防止ソングDVD(学校等で活用)
- ・高齢者対策ビデオ(特殊詐欺、ルールマナー違反、万引きなど)328本

《店舗》

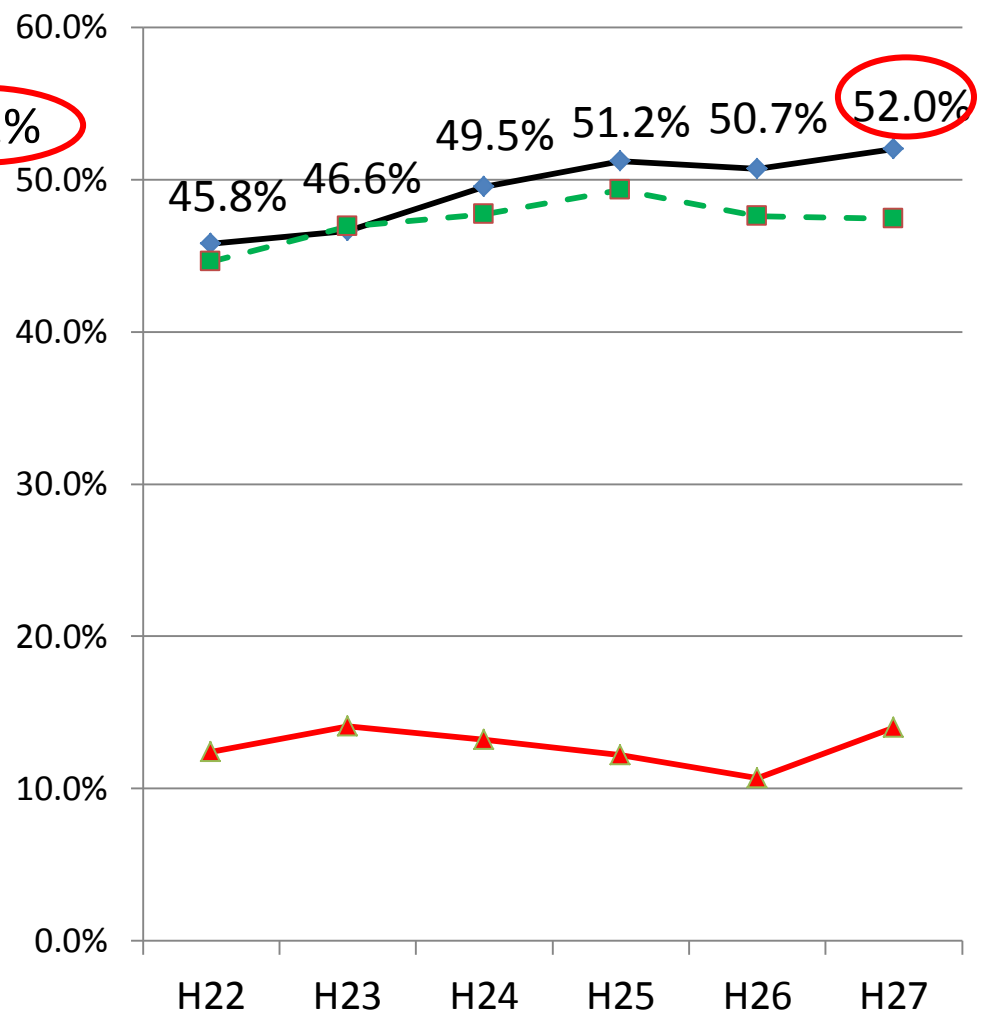
- ・万引き全件届出の徹底(平成22年～)
- ・万引き防止のための防犯責任者養成講座(小売店等の責任者1784名が受講(H23年～27年))
- ・万引き防止「モデル店舗」の認定(H24～27年まで 19店舗を認定)

被疑者の再犯者率(都内)

<再犯者率>



<再犯者率(同一罪種(窃盗犯))>



万引きの常習性(1)

＜過去に万引きが見つからなかった回数＞

都内 平成21年	少年	成人	高齢者
1回	5	12	7
2回	2	1	6
3回	3	5	2
4回	0	3	1
5回	1	4	0
6回	2	5	0
無	7	23	17
不明	4	77	39

H21 「万引きに関する調査研究報告書」

「万引きをしない・させない」社会環境づくりと規範意識の醸成に関する調査委員会より作成

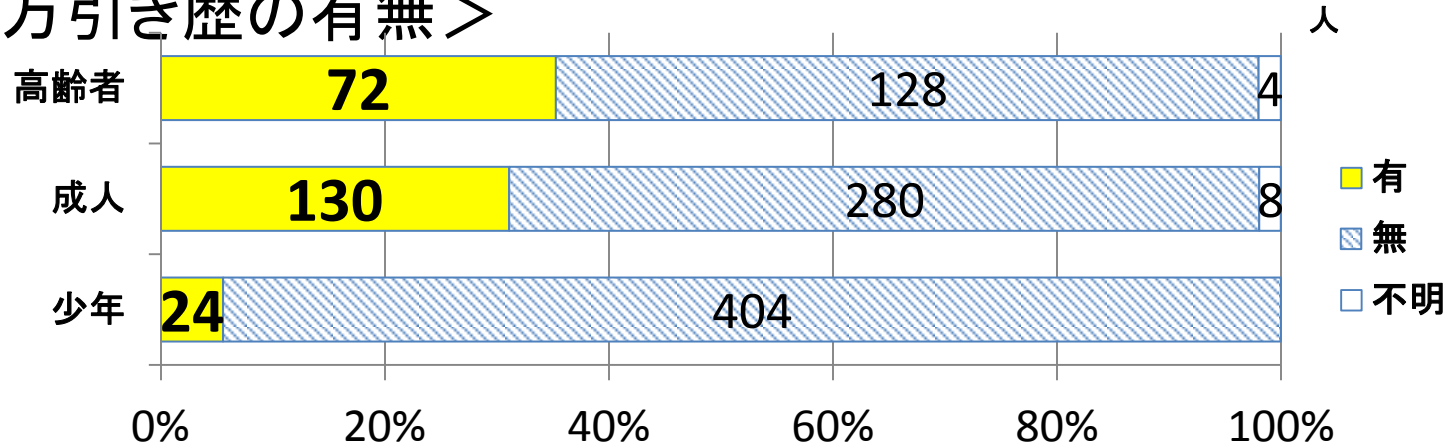
＜参考＞

・平成21年4月20日～6月30日まで ・調査票により、取調官に対し実施

・対象は、調査期間中に万引き被疑者として取調を受けた人のうち、調査票の回答のあった人(少年428人、成人418人、高齢者204人)

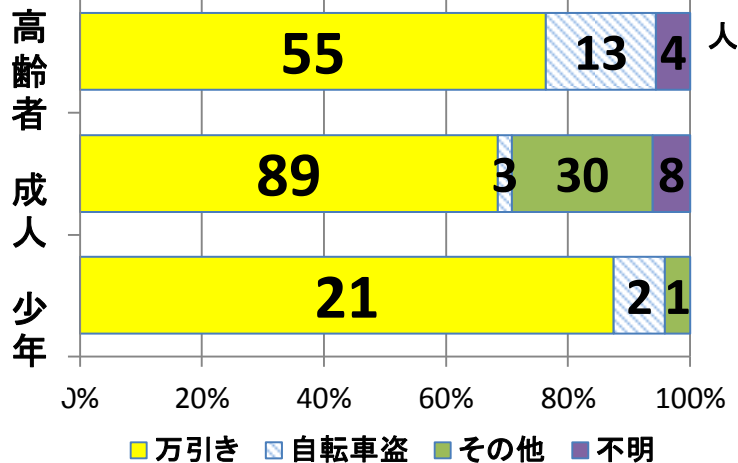
万引きの常習性(2)

＜万引き歴の有無＞



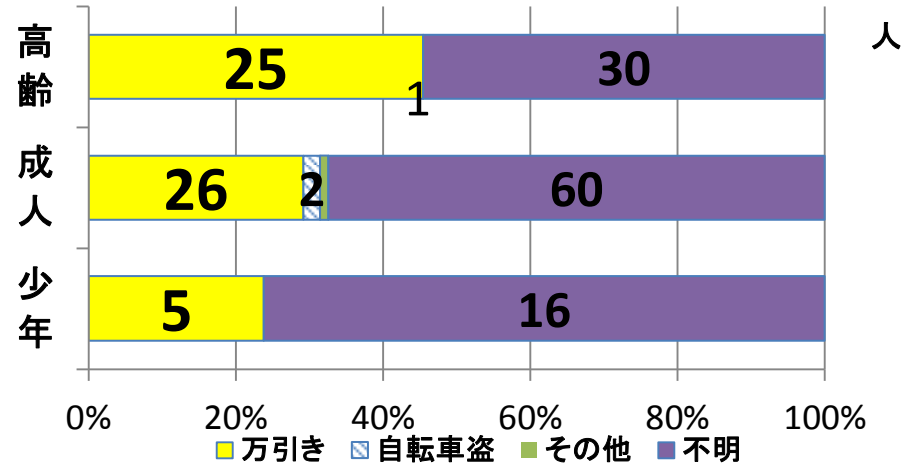
＜初犯の罪種＞

上記万引き有226人の初犯の罪種



＜初犯以降の罪種＞

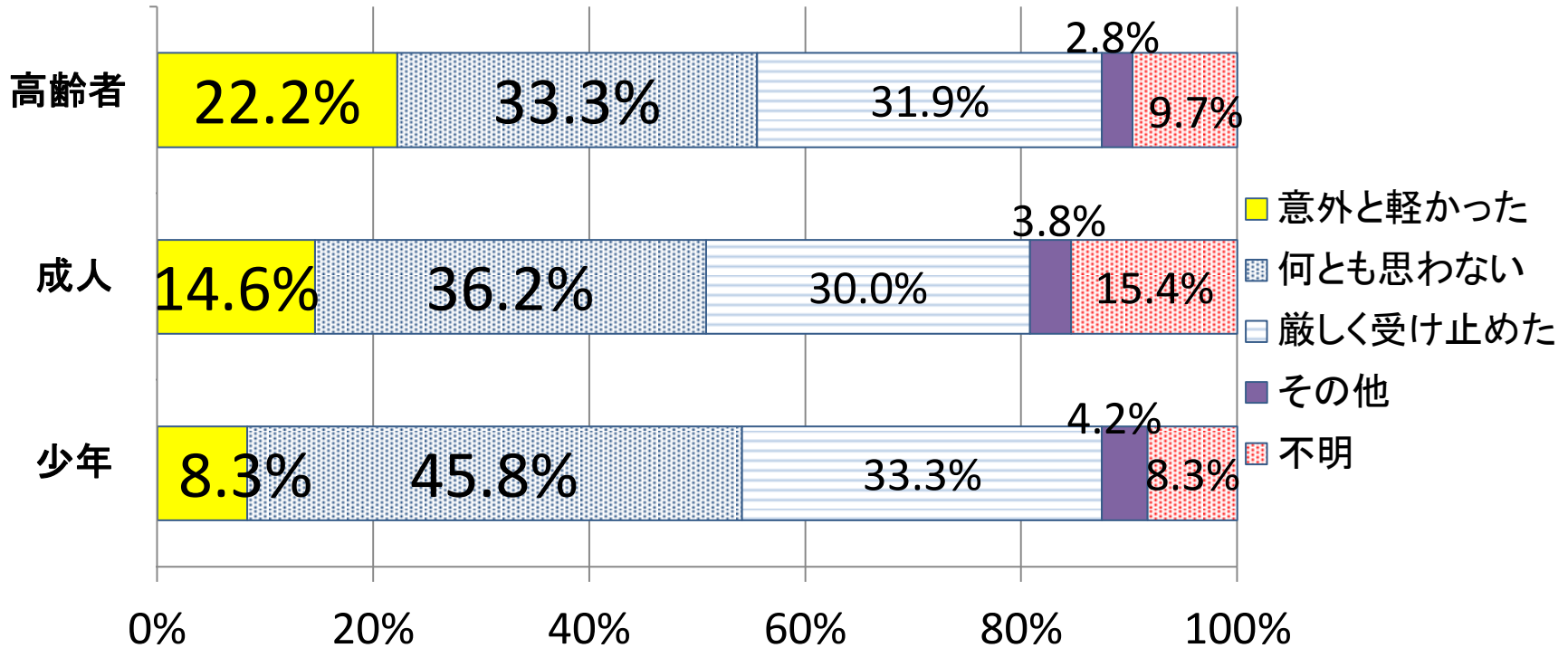
左記初犯が万引きの者165人のその後の罪種



H21 「万引きに関する調査研究報告書」

「万引きをしない・させない」社会環境づくりと規範意識の醸成に関する調査委員会より作成

初めて検挙された時の処分を どう思ったか？

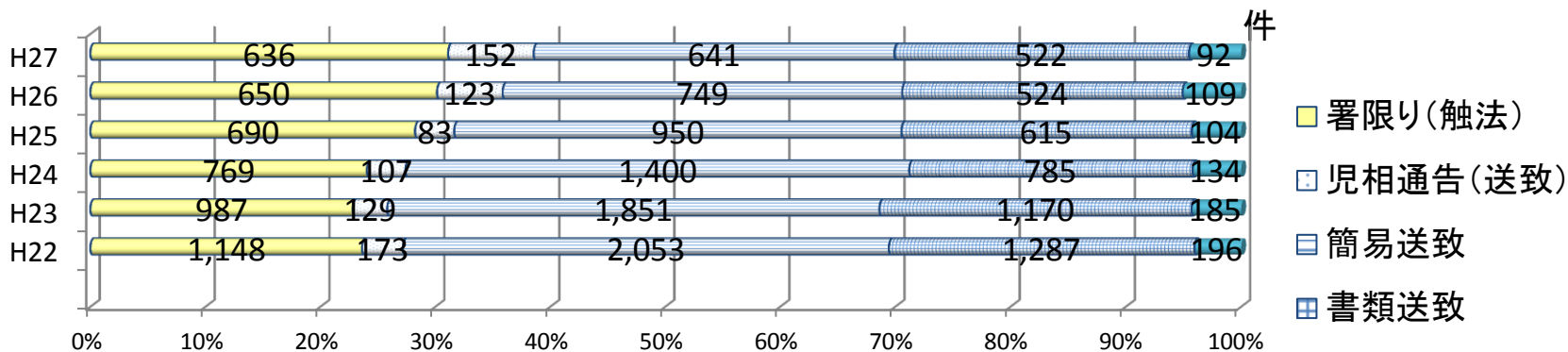


H21 「万引きに関する調査研究報告書」

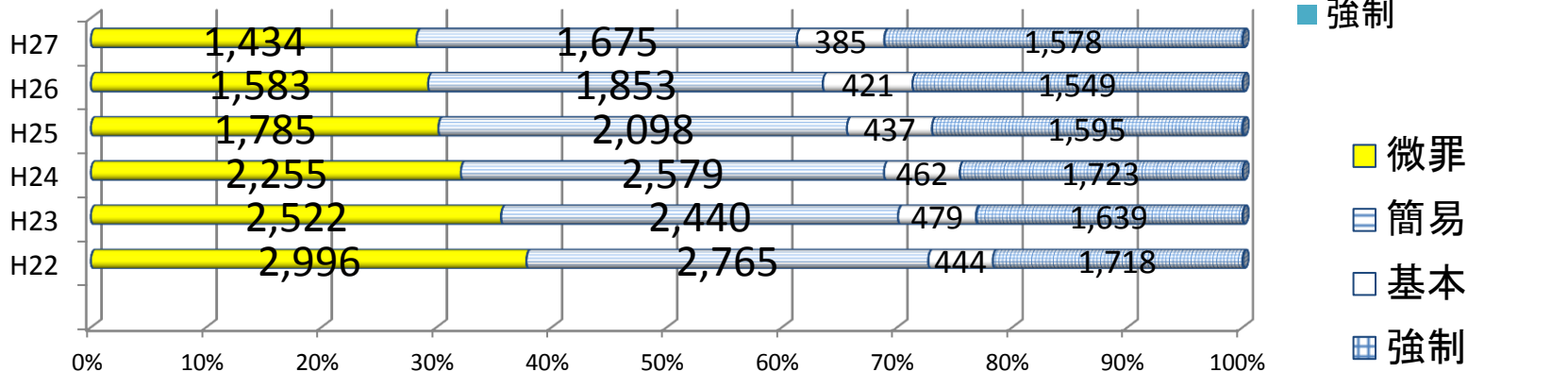
「万引きをしない・させない」社会環境づくりと規範意識の醸成に関する調査委員会より作成

被疑者の送致区分(都内)

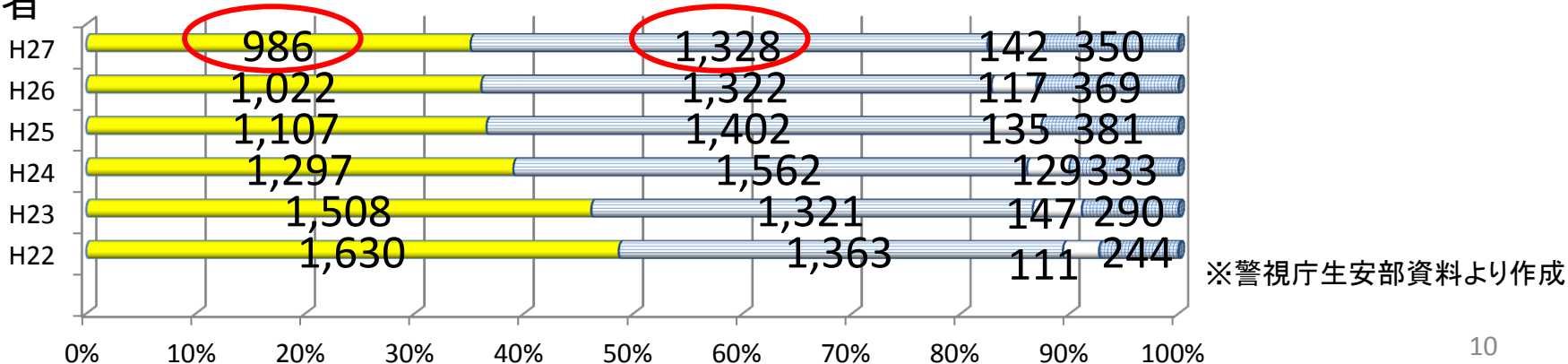
少年



成人

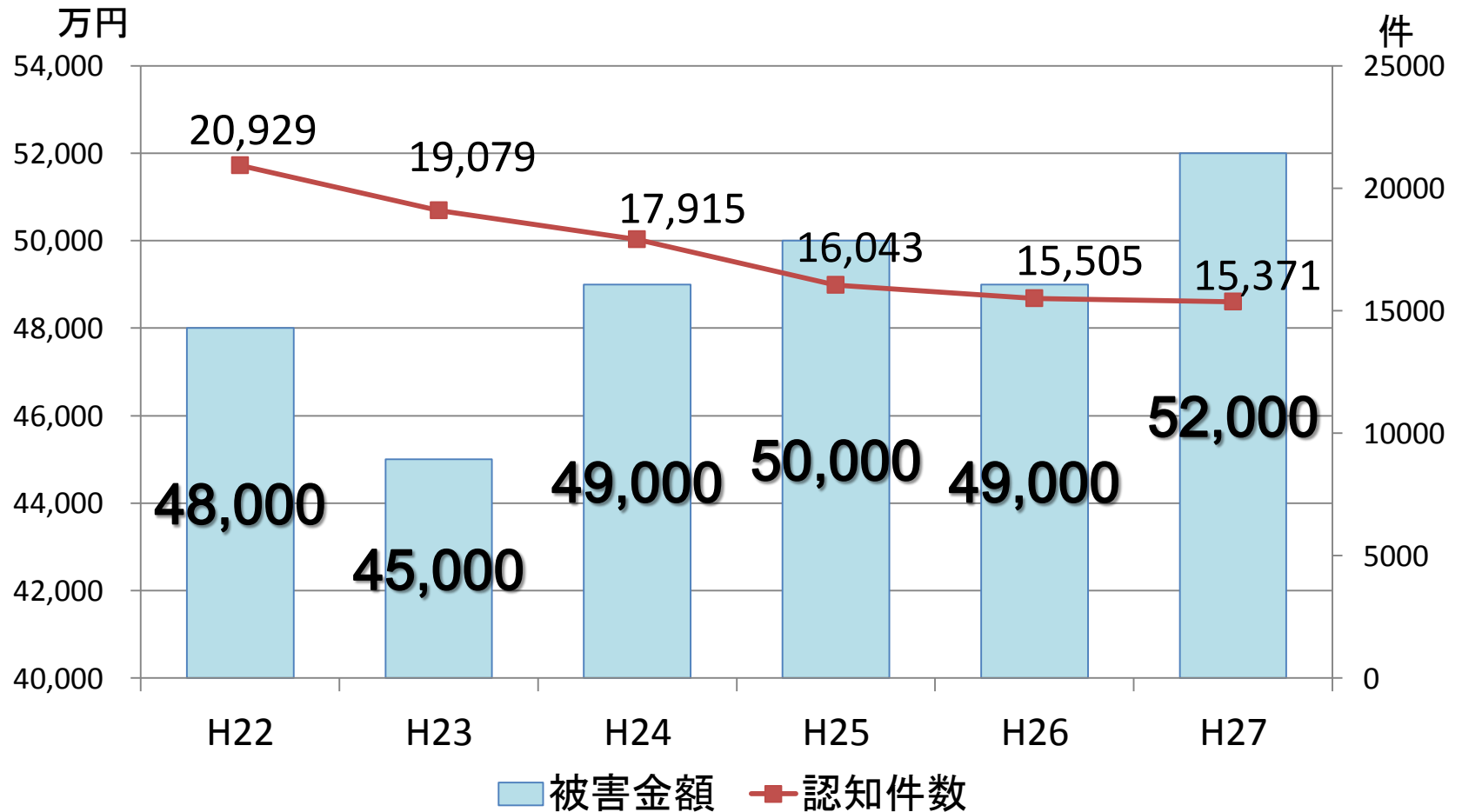


高齢者



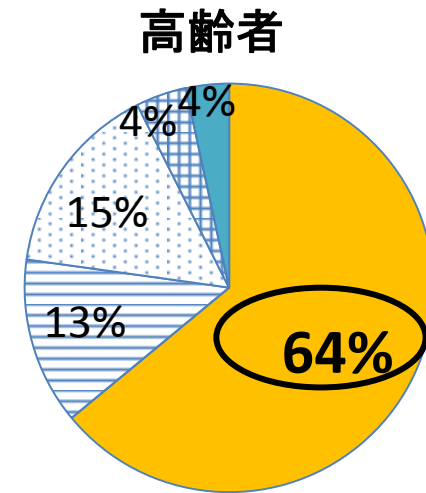
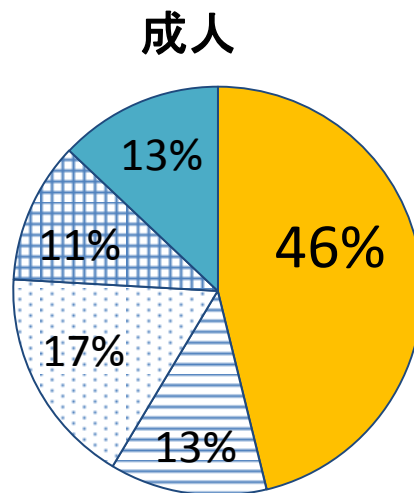
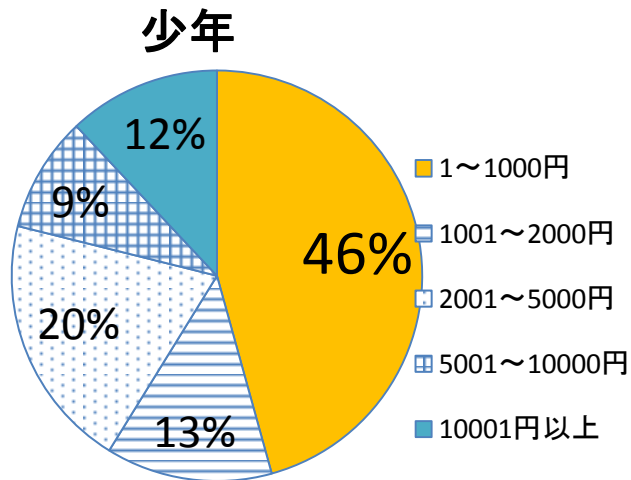
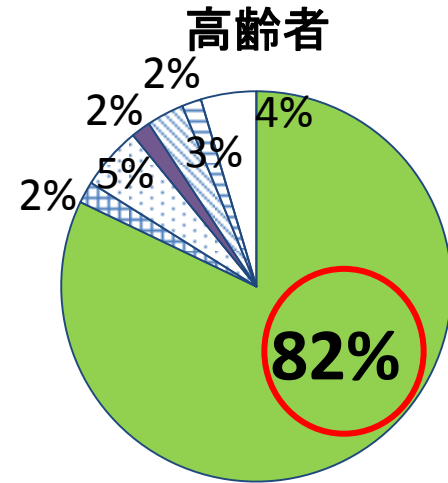
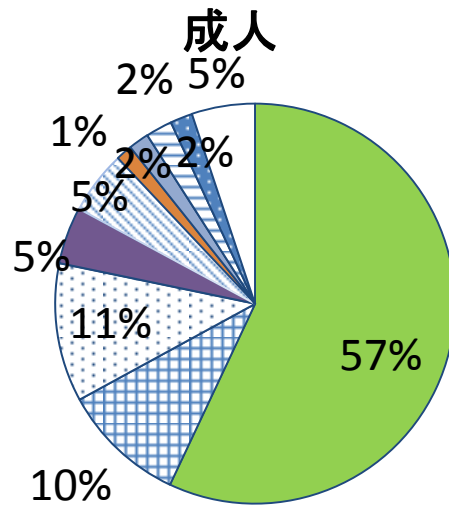
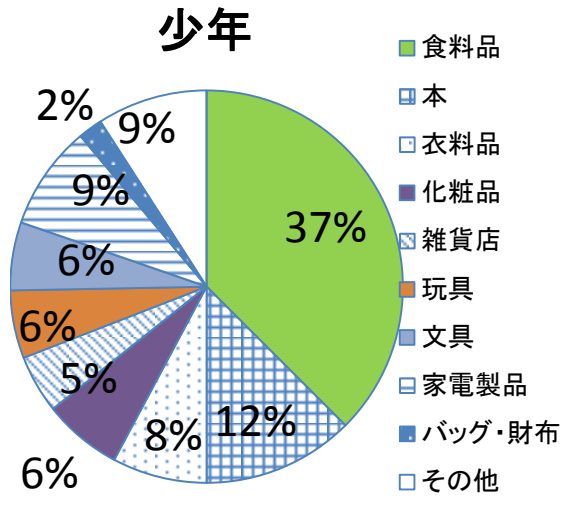
※警視庁生安部資料より作成

都内の被害金額 (認知ベース)の推移



※警視庁生安部資料より作成

被害品の内訳及び被害額（都内）



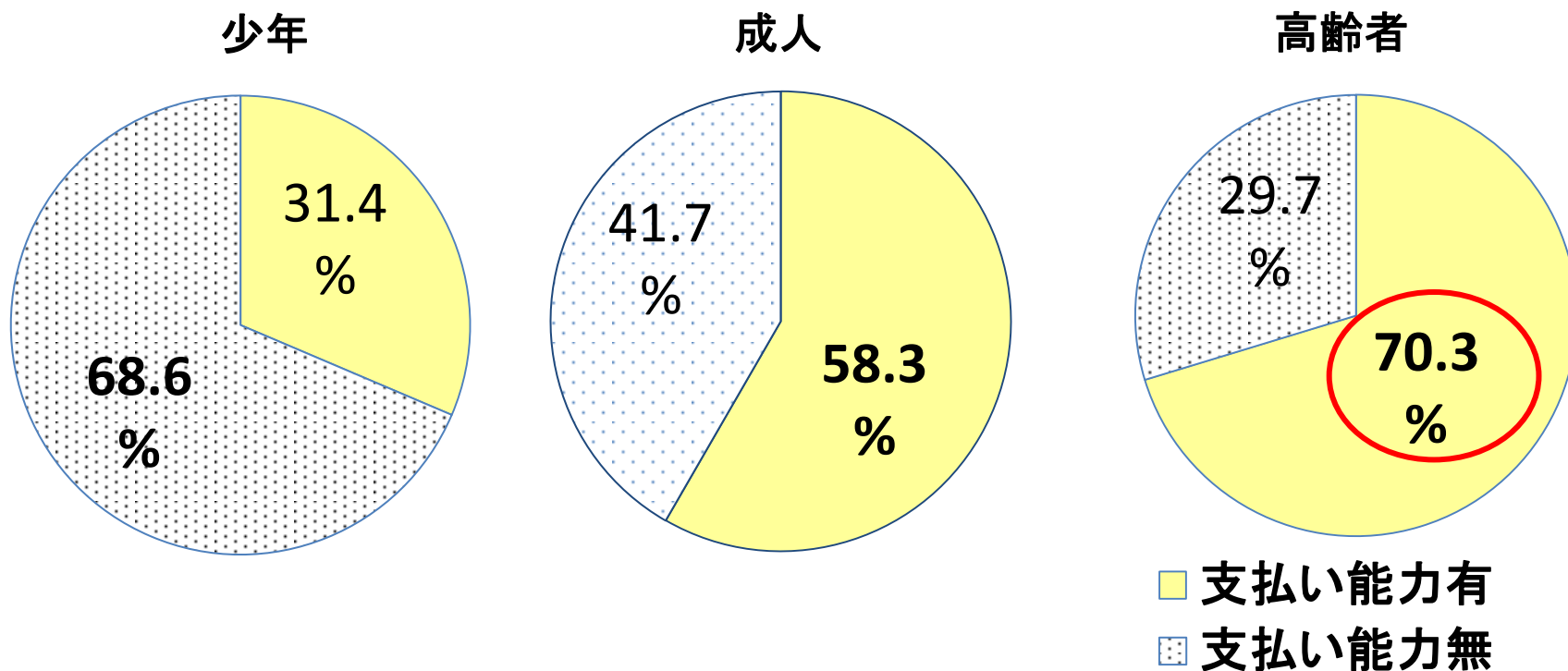
<参考>

- ・平成26年4月1日～平成27年3月31日まで
- ・万引き被疑者等調査システムにより取調官が入力したものを分析
- ・対象は、調査期間中に検挙・補導した被疑者 1,856件
- ・少年582件、成人780件、高齢者494件

東京万引き防止官民合同会議「万引き被疑者等に関する実態調査分析報告書（平成26年度調査）」により作成

被疑者の経済状況(1)

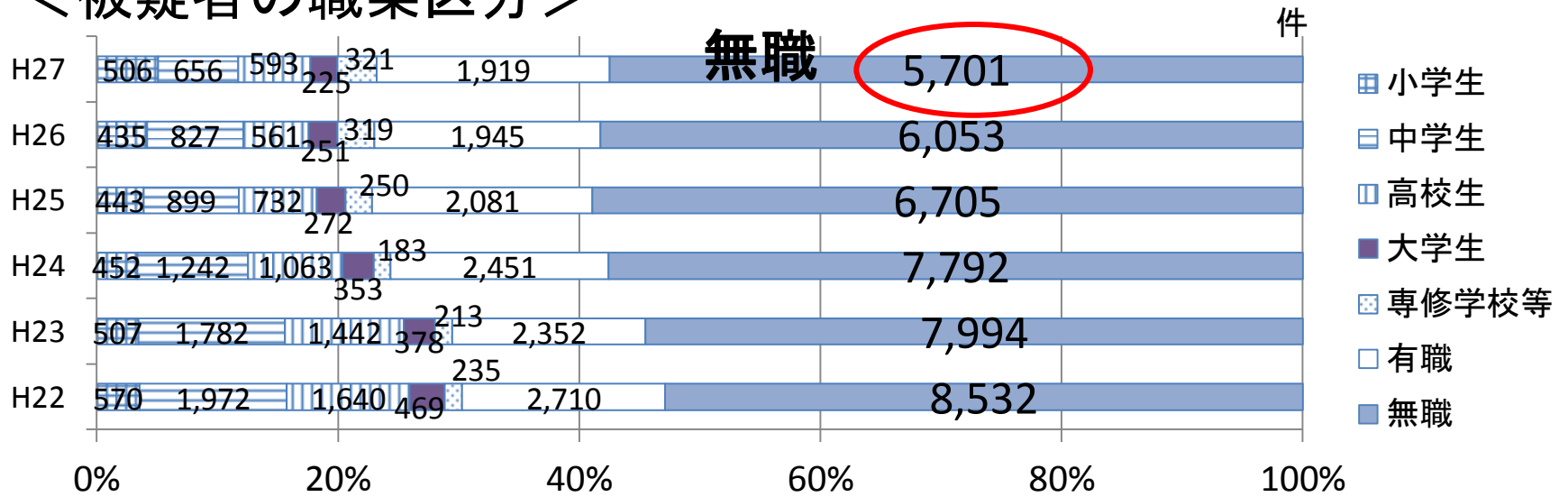
＜支払能力の有無＞



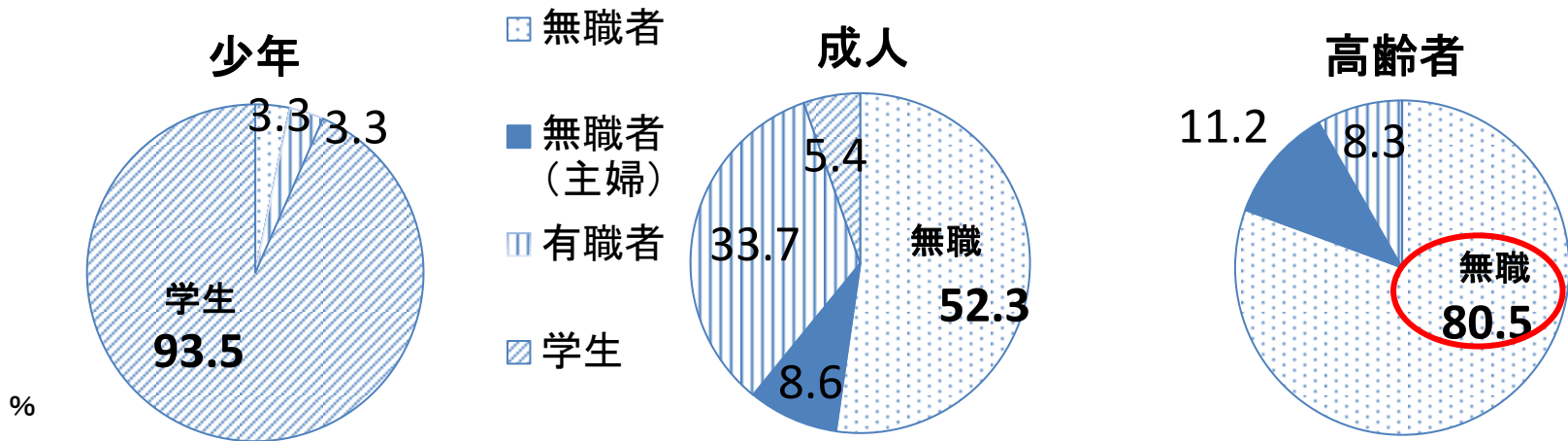
東京万引き防止官民合同会議「万引き被害者等に関する実態調査分析報告書(平成26年度調査)」により作成

被疑者の経済状況(2)

<被疑者の職業区分>



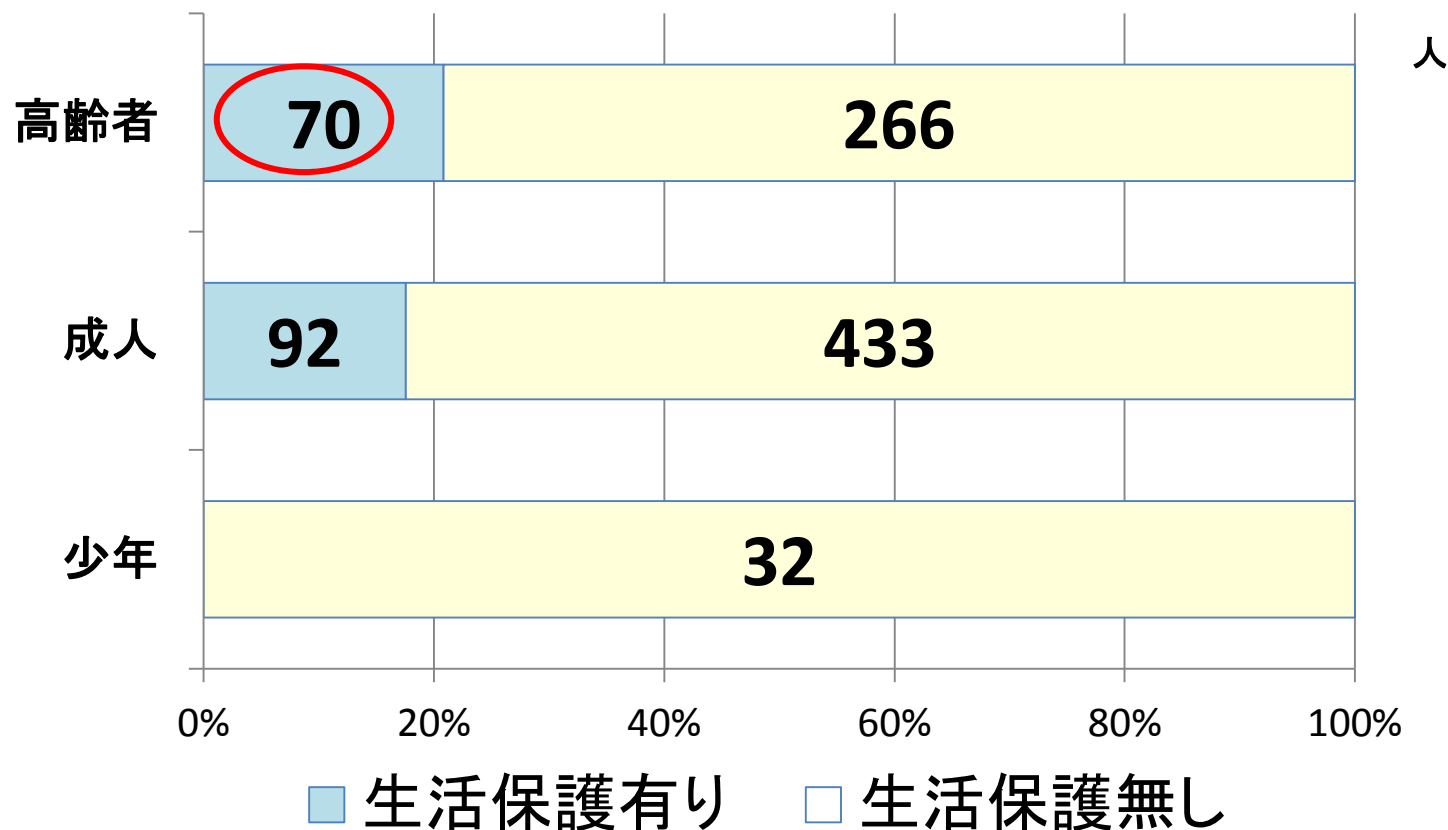
※警視庁生安部資料より作成



※東京万引き防止官民合同会議「万引き被疑者等に関する実態調査分析報告書(平成26年度調査)」より作成

被疑者の経済状況(3)

<生活保護受給者>



東京万引き防止官民合同会議「万引き被害者等に関する実態調査分析報告書
(平成26年度調査)」により作成

被疑者の経済状況(4) ※香川県

香川県 平成22年		青少年(N=87) (20歳未満)		成人(N=51) (20歳以上～65歳未満)		高齢者(N=42) (65歳以上)		計(N=180)	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
性別	男性	68	78.2%	27	52.9%	20	47.6%	115	63.9%
	女性	19	21.8%	24	47.1%	22	52.4%	65	36.1%
職業	小学生	14	16.1%	0	0.0%	0	0.0%	14	7.8%
	中学生	47	54.0%	0	0.0%	0	0.0%	47	26.1%
	高校生	16	18.4%	0	0.0%	0	0.0%	16	8.9%
	アルバイト等	2	2.3%	8	15.7%	1	2.4%	11	6.1%
	派遣・契約社員	0	0.0%	4	7.8%	0	0.0%	4	2.2%
	会社員	2	2.3%	5	9.8%	0	0.0%	7	3.9%
	自営業	0	0.0%	0	0.0%	1	2.4%	1	0.6%
	主婦	0	0.0%	4	7.8%	3	7.1%	7	3.9%
	無職	2	2.3%	23	45.1%	30	71.4%	55	30.6%
	その他	3	3.4%	6	11.8%	3	7.1%	12	6.7%
	不明	1	1.1%	1	2.0%	4	9.5%	6	3.3%
犯行時の就労状況	無就労	55	63.2%	21	41.2%	34	81.0%	110	61.1%
	不定期	7	8.0%	9	17.6%	5	11.9%	21	11.7%
	定期	6	6.9%	18	35.3%	1	2.4%	25	13.9%
	不明	19	21.8%	3	5.9%	2	4.8%	24	13.3%
生活保護	なし	84	96.6%	46	90.2%	38	90.5%	168	93.3%
	あり	1	1.1%	5	9.8%	4	9.5%	10	5.6%
	不明	2	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.1%
生活実態	困窮	0	0.0%	13	25.5%	1	2.4%	14	7.8%
	やや困窮	13	14.9%	18	35.3%	9	21.4%	40	22.2%
	普通	74	85.1%	19	37.3%	31	73.8%	124	68.9%
	裕福	0	0.0%	1	2.0%	1	2.4%	2	1.1%

出典:科学警察研究所報告(平成25年7月)

万引きに関する心理的要因の検討—万引き被疑者を対象とした意識調査から— 大久保・堀江・松浦・松永・江村

被疑者の意識(1)

＜犯行の動機・原因＞

件・%	全体	少年	成人	高齢者
お金を払いたくないから	408 (29.3%)	129 (25.7%)	166 (30.3%)	113 (33.0%)
生活困窮	258 (18.5%)	6 (1.2%)	138 (25.2%)	114 (33.3%)
許されると思った	159 (11.4%)	48 (9.6%)	65 (11.9%)	46 (13.5%)
空腹	107 (7.7%)	67 (13.3%)	26 (4.7%)	14 (4.1%)
自分の小遣いでは買えない	155 (11.1%)	128 (25.5%)	25 (4.6%)	2 (0.6%)
スリル・好奇心	79 (5.7%)	55 (11.0%)	19 (3.5%)	6 (1.8%)
転売目的	13 (0.8%)	3 (0.6%)	8 (1.5%)	0 (0.0%)
その他	214 (15.4%)	66 (13.1%)	101 (18.4%)	47 (13.7%)
合計 (有効回答数)	1392	502	548	342

被疑者の意識(2)

< 罪の意識 >

件・%	全体	少年	成人	高齢者
捕まると思っていない	648 (50.3%)	304 (61.2%)	197 (40.1%)	148 (49.2%)
悪いことだと思っていない	405 (31.4%)	123 (24.7%)	187 (38.1%)	95 (31.6%)
弁償すれば済むと思っていた	75 (5.8%)	11 (2.2%)	44 (9.0%)	20 (6.6%)
少額は処罰されない	31 (2.4%)	3 (0.6%)	14 (2.9%)	14 (4.7%)
14歳未満・高齢者だから許されると思っていた	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
厳しく処罰されると分かっていた	106 (8.2%)	51 (10.3%)	35 (7.1%)	20 (6.6%)
その他	23 (1.8%)	5 (1.0%)	14 (2.9%)	4 (1.3%)
合計(有効回答数)	1289	497	491	301

被疑者の意識(3)

＜万引き全件届出の知識の有無＞

件・%	全体	少年	成人	高齢者
知っていた	111 (8.8%)	17 (3.6%)	55 (11.3%)	40 (13.2%)
知らなかった	1153 (91.2%)	457 (96.4%)	430 (88.7%)	265 (86.8%)
合計(有効回答数)	1264	474	485	305

＜万引きの刑罰の知識の有無＞

件・%	全体	少年	成人	高齢者
知っていた	377 (30.9%)	110 (23.4%)	174 (37.7%)	92 (31.8%)
知らなかった	842 (69.1%)	360 (76.6%)	287 (62.3%)	196 (68.2%)
合計(有効回答数)	1219	470	461	288

犯行の態様(1)

＜犯行を決意したとき＞

都内 平成26年	全体		少年		成人		高齢者	
	件数		件数		件数		件数	
店舗に入る前	498	(35.8%)	244	(48.9%)	170	(31.0%)	84	(24.3%)
店舗に入ってから	445	(32.0%)	128	(25.7%)	193	(35.2%)	125	(36.2%)
品物を見ているうちに	283	(20.3%)	104	(20.8%)	104	(19.0%)	74	(21.4%)
品物を手に取ったとき	148	(10.6%)	21	(4.2%)	73	(13.3%)	53	(15.4%)
その他	18	(1.3%)	2	(0.4%)	8	(1.5%)	9	(2.6%)
合計(有効回答数)	1392		499		548		345	

犯行の態様(2)

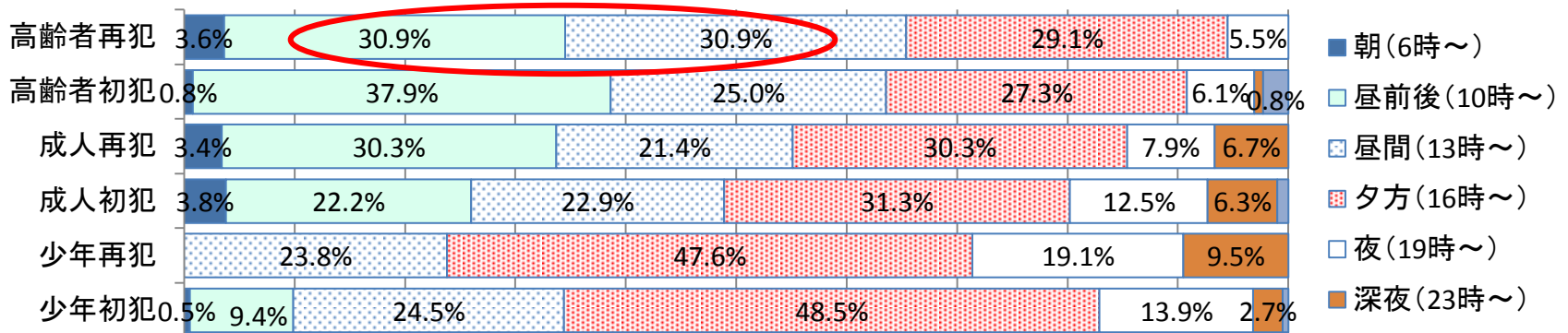
< 犯行地域選定理由 >

都内 平成26年	全体		少年		成人		高齢者	
	件数		件数		件数		件数	
自宅近く	812	(58.1%)	275	(55.2%)	272	(49.3%)	264	(76.1%)
たまたま行った場所	411	(29.4%)	139	(27.9%)	205	(37.1%)	67	(19.3%)
学校近く	67	(4.8%)	58	(11.6%)	7	(1.3%)	2	(0.6%)
職場近く	43	(3.1%)	5	(1.1%)	32	(5.8%)	7	(2.0%)
その他	64	(4.6%)	21	(4.2%)	36	(6.5%)	7	(2.0%)
合計(有効回答数)	1397		498		552		347	

犯行の態様(3)

<時間帯>

平成21年 都内



H21「万引きに関する調査研究報告書」「万引きをしない・させない」社会環境づくりと規範意識の醸成に関する調査委員会より作成

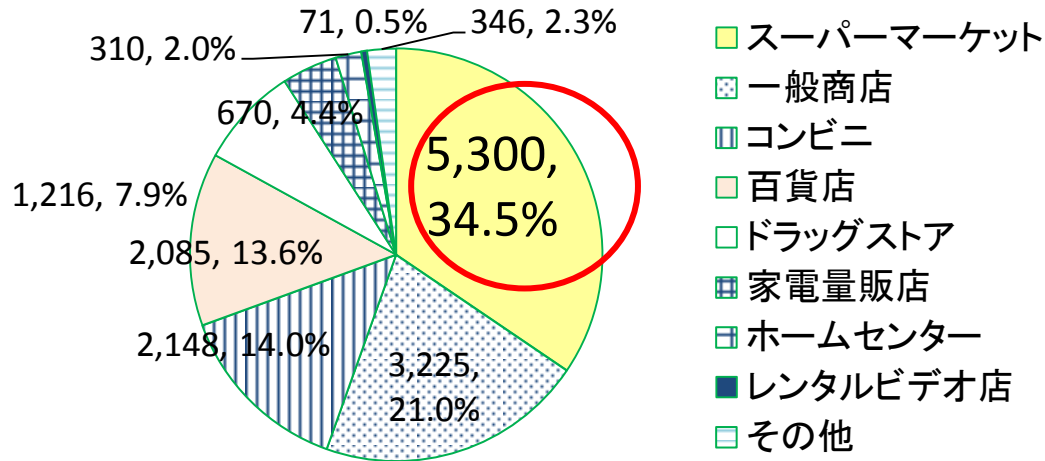
香川県 平成22年		青少年(N=87) (20歳未満)		成人(N=51) (20歳以上 ~65歳未満)		高齢者(N=42) (65歳以上)		計(N=180)	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
犯行の時間帯	朝(6時～)	0	0.0%	1	2.0%	1	2.4%	2	1.1%
	昼前後(10時～)	17	19.5%	8	15.7%	19	45.2%	44	24.4%
	昼間(13時～)	28	32.2%	18	35.3%	11	26.2%	57	31.7%
	夕方(16時～)	29	33.3%	18	35.3%	10	23.8%	57	31.7%
	夜(19時～)	12	13.8%	4	7.8%	1	2.4%	17	9.4%
	深夜(23時～)	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%
	不明	0	0.0%	2	3.9%	0	0.0%	2	1.1%

出典:科学警察研究所報告(平成25年7月)万引きに関する心理的要因の検討
—万引き被疑者を対象とした意識調査— 大久保・堀江・松浦・松永・江村

犯行の態様(4)

<犯行場所>

H27 都内



※警視庁生安部資料より作成

香川県 平成22年		青少年(N=87) (20歳未満)		成人(N=51) (20歳以上 ~65歳未満)		高齢者(N=42) (65歳以上)		計(N=180)	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
犯行の場所	コンビニ	10	11.5%	2	3.9%	0	0.0%	12	6.7%
	スーパー	50	57.5%	40	78.4%	36	85.7%	126	70.0%
	デパート	8	9.2%	3	5.9%	1	2.4%	12	6.7%
	書店	13	14.9%	2	3.9%	0	0.0%	15	8.3%
	量販店	2	2.3%	1	2.0%	4	9.5%	7	3.9%
	その他	4	4.6%	2	3.9%	1	2.4%	7	3.9%
	不明	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%	1	0.6%

出典:科学警察研究所報告(平成25年7月)

万引きに関する心理的要因の検討—万引き被疑者を対象とした意識調査から— 大久保・堀江・松浦・松永・江村

犯行の態様(5)

<犯行場所(店舗)選定理由>

東京万引き防止官民合同会議「万引き被害者等に関する実態調査分析報告書(平成26年度調査)」により作成

都内 平成26年	全体 件数		少年 件数		成人 件数		高齢者 件数	
	店員の数が少ない	334	(27.8%)	123	(26.7%)	137	(29.8%)	73
死角が多い	233	(19.4%)	97	(21.1%)	81	(17.6%)	55	(19.6%)
盗み易い陳列方法	114	(9.5%)	60	(13.0%)	32	(7.0%)	22	(7.8%)
警備員がいない	138	(11.5%)	48	(10.4%)	56	(12.2%)	34	(12.1%)
店員が無関心	70	(5.8%)	20	(4.3%)	32	(7.0%)	18	(6.4%)
防犯カメラがない	32	(2.7%)	19	(4.1%)	8	(1.8%)	5	(1.8%)
その他	280	(23.3%)	93	(20.2%)	113	(24.6%)	74	(26.3%)
合計(有効回答数)	1200		460		459		281	

<万引きを断念すること>

H21 「万引きに関する調査研究報告書」「万引きをしない・させない」社会環境づくりと規範意識の醸成に関する調査委員会より作成

都内 平成21年		店員からの 声掛け	警備員 の配置	防犯カメラの 設置	その他	断念する ことはない	不明
少年	初犯	61.6%	17.3%	2.2%	3.5%	1.7%	13.6%
	再犯	38.1%	42.9%	0%	9.5%	4.8%	4.8%
成人	初犯	59.0%	19.1%	2.4%	4.2%	2.4%	12.8%
	再犯	70.8%	11.2%	2.2%	2.2%	2.2%	13.5%
高齢者	初犯	63.6%	12.1%	0.0%	2.3%	2.3%	16.7%
	再犯	65.5%	9.1%	0.0%	9.1%	9.1%	16.4%

犯行の態様(6)

香川県 平成22年		青少年(N=87) (20歳未満)		成人(N=51) (20歳以上 ~65歳未満)		高齢者(N=42) (65歳以上)		計(N=180)	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
犯行の目的 (複数回答)	日用品	12	13.8%	14	27.5%	9	21.4%	35	19.4%
	食料品	41	47.1%	34	66.7%	30	71.4%	105	58.3%
	衣類	8	9.2%	5	9.8%	2	4.8%	15	8.3%
	本・雑誌	13	14.9%	4	7.8%	0	0.0%	17	9.4%
	CD・DVD・ゲームソフト	1	1.1%	2	3.9%	0	0.0%	3	1.7%
	その他	20	23.0%	4	7.8%	3	7.1%	27	15.0%
	不明	2	2.3%	1	2.0%	0	0.0%	3	1.7%
万引きした 物の用途 (複数回答)	売却	2	2.3%	2	3.9%	0	0.0%	4	2.2%
	(友人・仲間)	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%
	(中古品)	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.7%
	自己消費	74	85.1%	45	88.2%	38	90.5%	157	87.2%
	友人・仲間への譲渡	7	8.0%	2	3.9%	1	2.4%	10	5.6%
	その他	2	2.3%	2	3.9%	0	0.0%	4	2.2%
	不明	6	6.9%	1	2.0%	3	7.1%	10	5.6%
犯行の 共犯者	なし	41	47.1%	50	98.0%	42	100.0%	133	73.9%
	あり	45	51.7%	0	0.0%	0	0.0%	45	25.0%
	(同じ学校の仲間)	41	47.1%	0	0.0%	0	0.0%	41	22.8%
	(他校の仲間)	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%
	(その他)	3	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.7%
	不明	1	1.1%	1	2.0%	0	0.0%	2	1.1%

出典:科学警察研究所報告(平成25年7月)

万引きに関する心理的要因の検討—万引き被疑者を対象とした意識調査から— 大久保・堀江・松浦・松永・江村

犯行の態様(7)

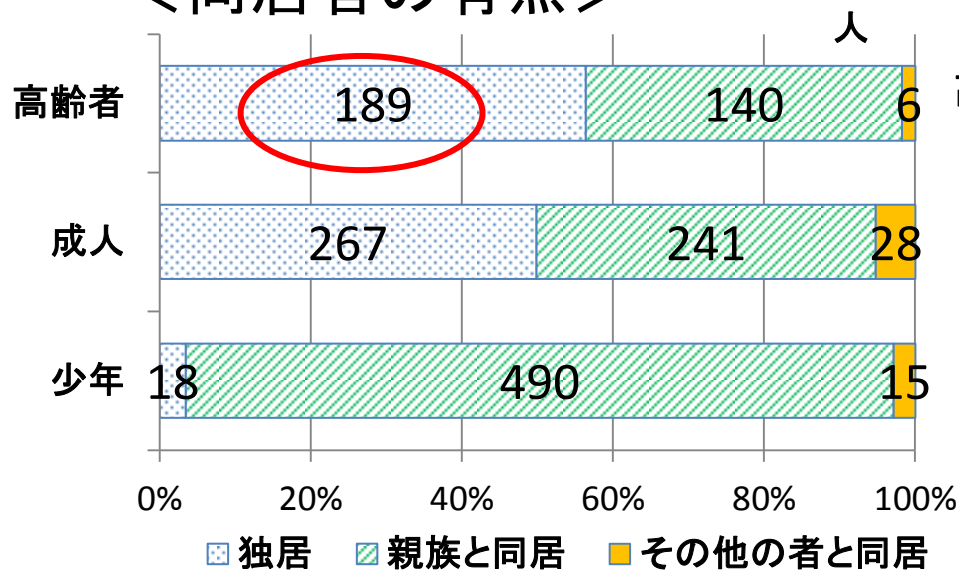
香川県 平成22年		青少年(N=87) (20歳未満)		成人(N=51) (20歳以上 ~65歳未満)		高齢者(N=42) (65歳以上)		計(N=180)	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
犯行の計画性	なし	64	73.6%	36	70.6%	39	92.9%	139	77.2%
	あり	20	23.0%	15	29.4%	3	7.1%	38	21.1%
	不明	3	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.7%
万引きの決意時	店に入った後	34	39.1%	35	68.6%	32	76.2%	101	56.1%
	店に入る前	52	59.8%	16	31.4%	9	21.4%	77	42.8%
	不明	1	1.1%	0	0.0%	1	2.4%	2	1.1%
犯行時の所持金	なし	35	40.2%	9	17.6%	3	7.1%	47	26.1%
	あり	51	58.6%	41	80.4%	38	90.5%	130	72.2%
	不明	1	1.1%	1	2.0%	1	2.4%	3	1.7%
犯行の常習性	なし	46	52.9%	19	37.3%	21	50.0%	86	47.8%
	あり	38	43.7%	31	60.8%	21	50.0%	90	50.0%
	不明	3	3.4%	1	2.0%	0	0.0%	4	2.2%
万引き回数	初めて	44	50.6%	20	39.2%	19	45.2%	83	46.1%
	2回以上	42	48.3%	31	60.8%	23	54.8%	96	53.3%
	不明	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%
検挙回数	初犯	73	83.9%	27	52.9%	22	52.4%	122	67.8%
	再犯	13	14.9%	23	45.1%	20	47.6%	56	31.1%
	不明	1	1.1%	1	2.0%	0	0.0%	2	1.1%

出典: 科学警察研究所報告(平成25年7月)

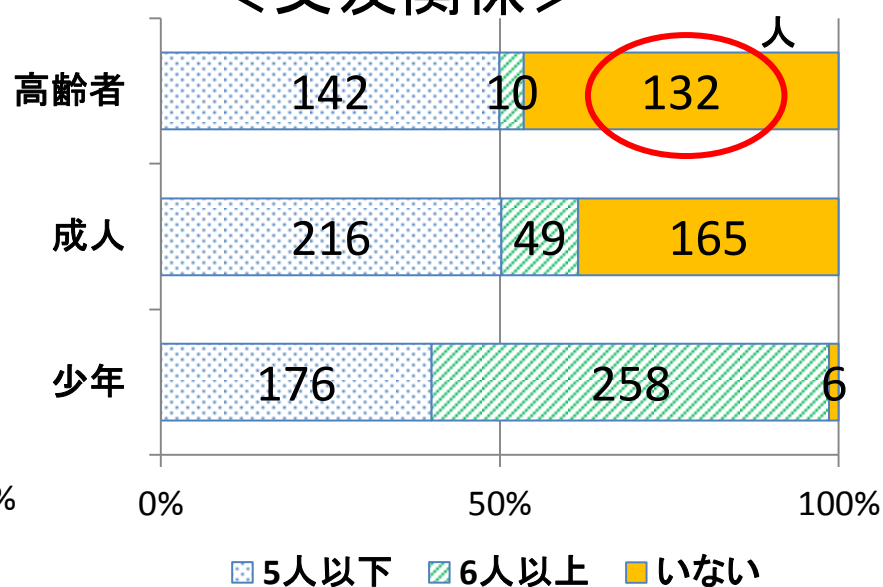
万引きに関する心理的要因の検討—万引き被疑者を対象とした意識調査から— 大久保・堀江・松浦・松永・江村

他者との関わり(1)

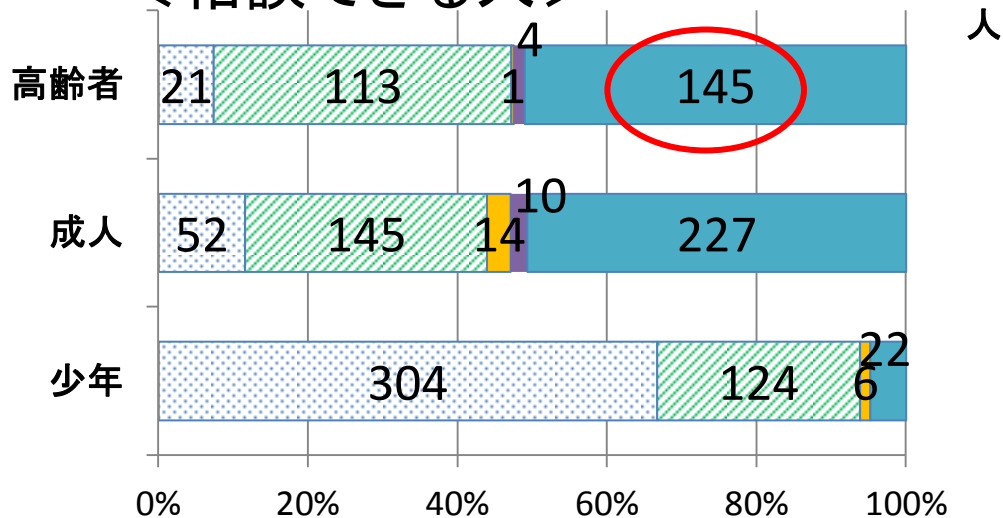
<同居者の有無>



<交友関係>



<相談できる人>



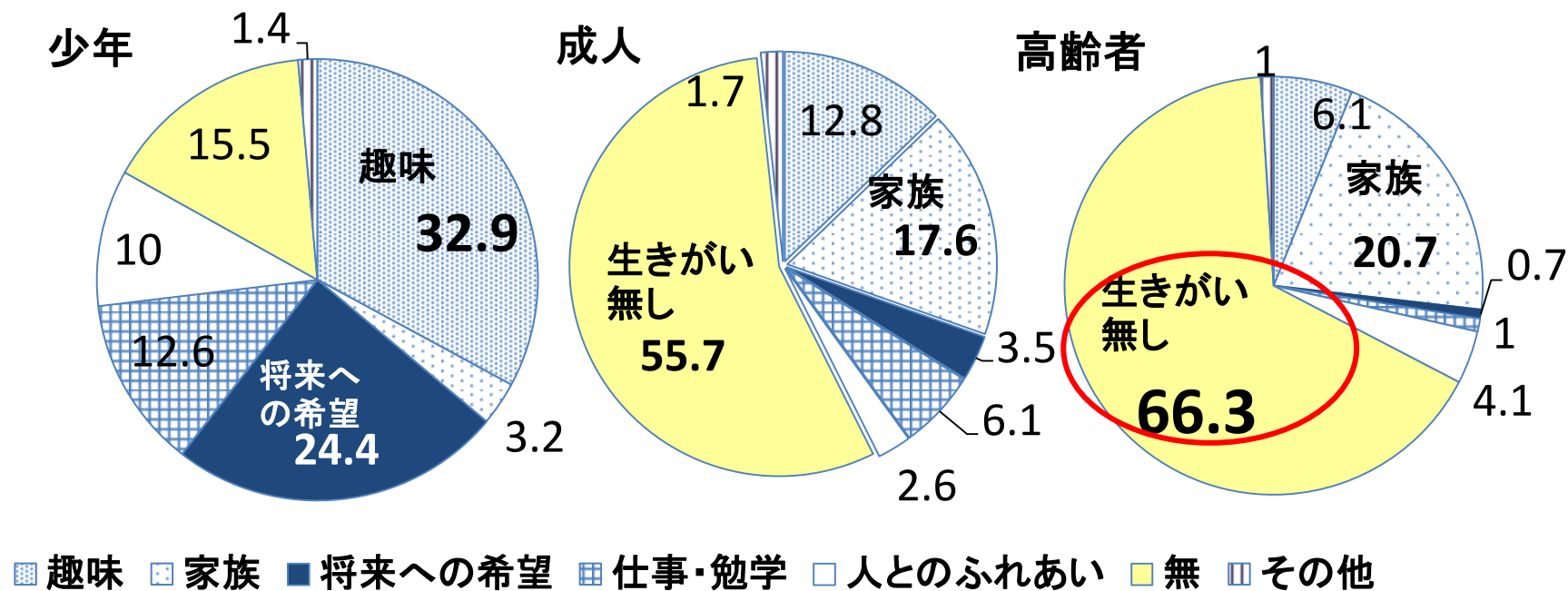
他者との関わり(2)

香川県 平成22年		青少年(N=87) (20歳未満)		成人(N=51) (20歳以上 ~65歳未満)		高齢者(N=42) (65歳以上)		計(N=180)	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
相談できる者の 存在 (複数回答)	家族	34	39.1%	23	45.1%	23	54.8%	80	44.4%
	先生	3	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.7%
	職場の上司・同僚	1	1.1%	2	3.9%	0	0.0%	3	1.7%
	先輩・友人	50	57.5%	4	7.8%	1	2.4%	55	30.6%
	その他	0	0.0%	2	3.9%	4	9.5%	6	3.3%
	いない	11	12.6%	22	43.1%	14	33.3%	47	26.1%
	不明	4	4.6%	1	2.0%	0	0.0%	5	2.8%
同居者	独居	0	0.0%	19	37.3%	15	35.7%	34	18.9%
	家族と同居	86	98.9%	27	52.9%	25	59.5%	138	76.7%
	家族以外の者と 同居	0	0.0%	2	3.9%	0	0.0%	2	1.1%
	その他	1	1.1%	3	5.9%	2	4.8%	6	3.3%

出典:科学警察研究所報告(平成25年7月)

万引きに関する心理的要因の検討—万引き被疑者を対象とした意識調査から— 大久保・堀江・松浦・松永・江村

趣味・生きがい



東京万引き防止官民合同会議「万引き被害者等に関する実態調査分析報告書(平成26年度調査)」により作成

参考文献

- ・「万引きに関する調査報告書」(平成21年)
「万引きをしない・させない」社会環境づくりと規範意識の醸成に関する調査研究委員会
- ・「万引き被疑者等に関する実態調査分析報告書」(平成27年)
東京万引き防止官民合同会議
- ・「万引きに関する心理的要因の検討—万引被疑者を対象とした意識調査から—」(平成25年)
大久保智生他(平成25年7月「科学警察研究所報告第62巻1,2号」)
- ・「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」(東京都総務局)
- ・警視庁生活安全部生活安全総務課作成資料